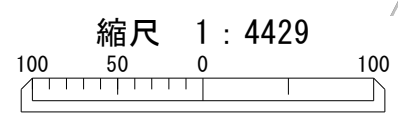
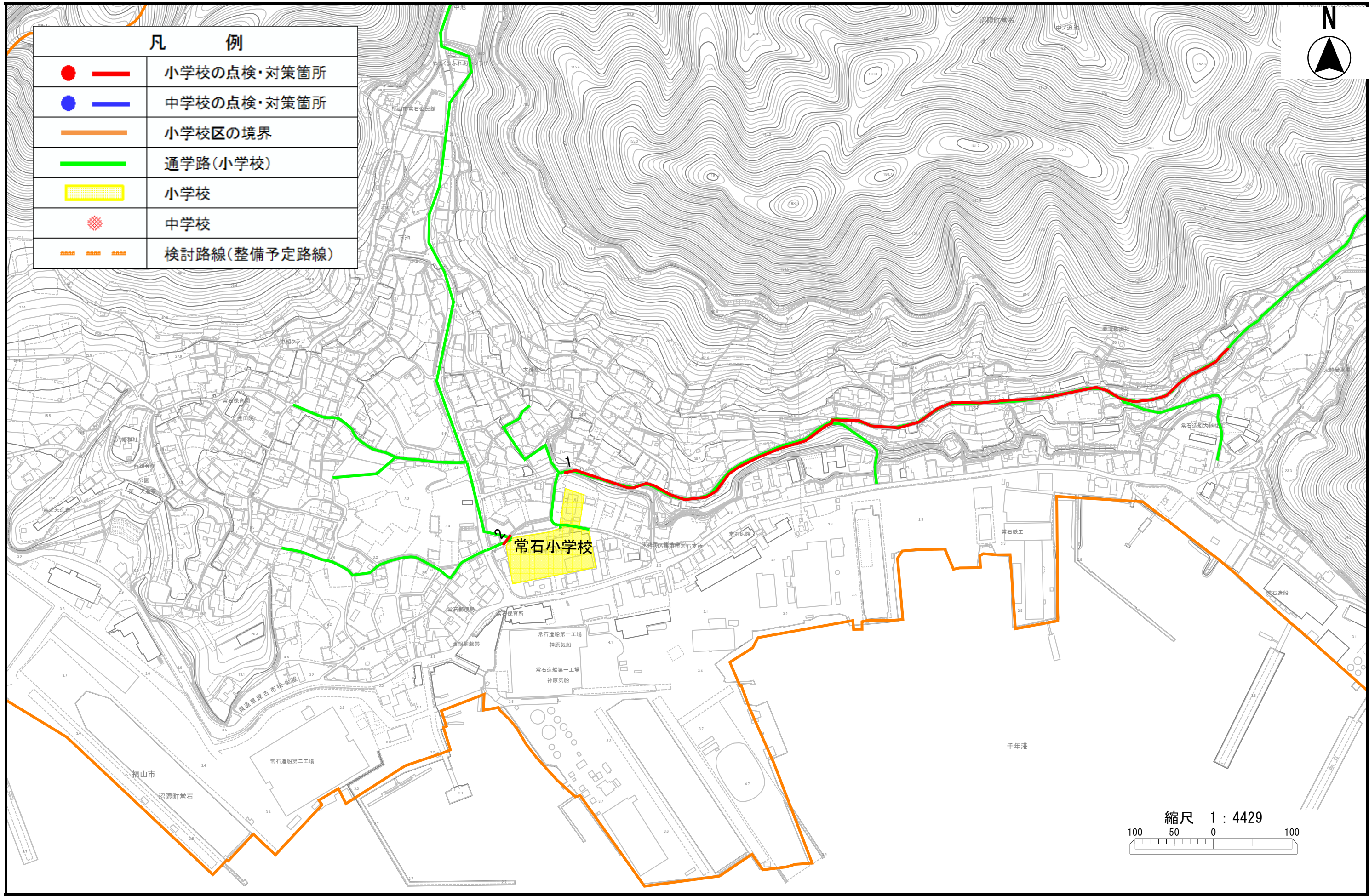


# 常石ともに学園



凡 例	
	小学校の点検・対策箇所
	中学校の点検・対策箇所
	小学校区の境界
	通学路(小学校)
	小学校
	中学校
	検討路線(整備予定路線)



学校名	位置図 番号	通学路 点検年度	危険内容	通学路対策予定内容/できない理由	対策状況 ステータス	備考
常石 ともに学園	1	2022	<p>朝の通学中、道幅が狭い通学路で、通勤の車がスピードを出して走行するため、歩行中の児童が危険。</p> <p>数年前にも、児童と接触事故を起こしている事案がある。</p> <p>通学路の看板や昇り旗があるが、効果は薄い。</p> <p>運転者が通学路であることを認識できるよう、対応が必要である。</p>	【市】 路面標示の設置	全て対応完了	関係者で標示位置を検討⇒学校、沼建で現場を確認した
常石 ともに学園	2	2022	<p>2022年4月に開校した常石ともに学園は、児童の送迎について、原則保護者が責任を持って行うこととなっています。</p> <p>常石地域以外からの通学児童も多いことから、登下校時には多くの車で混雑しています。</p> <p>特に、登校時は、地元企業の通勤ラッシュと重なり、慌ただしさに拍車をかけています。</p> <p>校門前の道路は道幅が狭く、スムーズな離合が困難であり、路肩に隣接する水路に脱輪するケースが、立て続けに発生しています。</p> <p>こうしたことから、校門前の水路には、応急処置として、地域の方々が準備した鉄板を敷いて、対応している状況にあります。</p> <p>ただし、あくまでも急場しのぎの対応であることから、一日も早く安全が確保されるよう、水路に蓋を掛け、道路幅員の確保をお願いいたします。</p>	【市】 鉄板を一度取り外して、測量したうえで事業を決定していく	対応中	